



# 山岳岳連

紙名: 野村静谷氏  
(毎日書道展審査員)  
発行: 山梨県山岳連盟  
(年4回)  
発行人: 秋山 泉  
編集人: 広報委員会  
(深沢 健三)  
事務所: 〒400-0304南アルプス市吉田166-2  
(望月 啓治方)  
(1部 100円)



予選ルートを登る少年女子チームの安田(左)と河野選手

後は競技歴約半年の河野がどこまで登れるかが決勝進出の鍵だが、河野を含めた8人が同高度の成績になり緊張が走る。しかし手元の計測メモでは発表リザルトより半手先まで到達している。審判に抗議したところ、これが認められたのが大きかった。結果8人中河野を含めた2人が22位タイ、残り6人が25位タイとなつてチーム順位5位で決勝進出となつた。

3日目、まずはリード決勝。最後までルートを読み切った安田に対し、グレードの上がつた決勝ルートの上部は捨(8面へ)

第64回国民体育大会山岳競技は、新潟県上越市安塚B&G海洋センターの特設ウォールを会場に、10月3日から3日間の日程で開催された。山梨からは昨年に続いて関東ブロックを突破した少年女子とストレート出場の成年男子の2チーム6人が参加。なかでも日本代表選手の安田あたりを擁する少年女子チームは、

リード、ボルダリング  
両種目とも3位という好成績を残し、皇后杯でも15年ぶりの6位入賞という順位をもたらした。昨年の大分国体でも少年女子はボルダ

リング種目で3位入賞は快挙と言えるだろう。成績は次の通り。

◇成年男子▽監督 渡辺晴彦(富士吉田市)▽選手 内藤聰(山梨市)・畠野克実(笛吹市)▽選手 安田あたり(芦川中3年)・河野明理(笛吹市)▽(山梨高2年)▽リード3位、ボルダリング3位、女子総合(皇后杯)6位

## 少年女子 2種目3位

新潟  
国体

リング種目で3位入賞を果たしたが、2年連続で表彰台に乗る成績

〈競技報告〉  
安田 賢(少年女子監督)

1日目のボルダリング予選。関東ブロック3位の我がチームがどこまで通用するのか?課題は4つ。ボルダリング得意とする安田あたりは、余裕の登りで全課題を1撃で4完登。個人1位タイ。河野明理もブロック大会を通じて初めての完登ポイントをもぎ取つて36人中22位。チーム順位で6位が確定し、決勝に駒を進めたが、やはり本国体の厳しさを感じた。

2日目はリード予選。

a. 経験の豊富な安田は1人でオブザベーション

(下見)させ、河野に指示を与える戦略で臨む。ボルダリングと異なり、リード競技中は監督から具体的な指示を出せないため、ふたりには「ガンバ」コールで声援を送るのみ。安田にとってはウォームアップのグレードで、よどみなく終了点に達し1位タイ。

安田、河野が健闘

## 15年ぶり皇后杯も入賞

推定グレードは5・12

a. 経験の豊富な安田は1人でオブザベーション

(下見)させ、河野に指示を与える戦略で臨む。ボルダリングと異なり、リード競技中は監督から具体的な指示を出せないため、ふたりには「ガンバ」コールで声援を送るのみ。安田にとってはウォームアップのグレードで、よどみなく終了点に達し1位タイ。

後は競技歴約半年の河野がどこまで登れるかが決勝進出の鍵だが、河野を含めた8人が同高度の成績になり緊張が走る。しかし手元の計測メモでは発表リザルトより半手先まで到達している。審判に抗議したところ、これが認められたのが大きかった。結果8人中河野を含めた2人が22位タイ、残り6人が25位タイとなつてチーム順位5位で決勝進出となつた。

3日目、まずはリード決勝。最後までルートを読み切った安田に対し、グレードの

山のニュース 山の本 山梨曰新聞 「やまなしの富士」発売中

購読の申し込みはフリーダイヤル 0120・320・117

本の申し込みは 055・231・3105

先日のTV、プロゴルフ界のスーパー・スター・石川遼くん、これを決めれば優勝となるパット。アドレスに入り、打とうとする瞬間、シャッター音に集中力を乱されて打つのをためらう。再度トライするもカツブインならず、結局失敗し優勝を逃つした。翌日のマスコミは一斉にギャラリーのマナーの悪さを非難、あたかも彼の優勝を逃したのは、そのせいと言わんばかりだった。そうじゃないだろう、自分の責任、自己責任が9割と私は思う。ギャラ

リーは増加の一途、やはり、動搖することなく集中力を高め、雑念を乗り越す気概、精神的な強さ、執念を身につければと思う。

登山界はどうだろう。次元が違う、スタンスが違うと言うかもしれないが、極限に追い込まれた状況下に、ものすごい集中力とテクニック、闘魂で危機を脱出、より高みへじりじりとずり上がる。ビッグウォールになれば、その連續、長時間の勝負となる。マイナス20度という氷壁に、吹雪、雪崩、強風とさまざまなハンドルをクリアし、体力を使い果たしてもなおその限界を超えて果敢に挑戦し続ける。そういうことをも十二分に想定された範囲内、行くか引くか、生命の、生きていることの瀬戸際、生死を賭けての自己判断、即ち自己責任である。この責任をまつどうして生還することになるのである。

植村直己さんは越崎に来たとき、私どもにこう言つた。「私は冒険家じゃない。冒険は危険を冒すと書くじゃないですか。私は

## 原点は「自己責任」

—秋山泉会長—

### 登山の在り方 再点検を

佐藤祐介くんは言う。「厳しければ厳しいほどに、その困難を乗り越えたときの達成感、こみあげる歡喜、やり遂げたことの満足感」。うれしいし楽しくて、楽しいんです」

実に簡単に、彼は楽しいと言ふけれど、楽しいというこの言葉の裏にはとても重い、厳肅な思想や命がけの行動、行為が秘められていることを見落としてはならない。「楽しい」という言葉を、こんなに重く受け止めたこと、私には今までにな

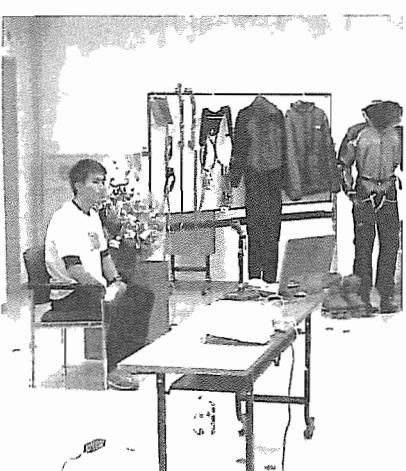
**佐藤裕介さんが講演  
2年間の登攀紹介**

11月11日午後7時半、秋山岳連会長あいさつを機に、待ちに待った佐藤裕介さんのスライド講演会が始まった。講演会の構成は2部に分かれており、1部は昨年度の記録、インドヒマラヤ・カラ

探検家です。検査し探求するんです。その延長線上に私の山や大雪原があるんです」。非常に印象的な言葉、そして彼はマッキンレーに消えてしまった。残念でしかたない。串田孫一さんは登山を「孤独な洗礼」と言つている。「何故人は山へ登るのだろう。何故好んで、氷の岩尾根を登つて行こうとするのだろう。この自ら悦んで求める忍苦の行為を人が棄てないうちは、私は人間の尊いねがいを疑わないだろう」



会場は150人を超す聴衆



講演する佐藤裕介さん

来年は登山本来の原点に立ち返り、自分や仲間の山行に再度、足元を見直し、すべての原点、思考に行動に、常に自己責任を再確認しなくてはいけない。ヘッドランプ1つ忘れてても自己責任、体力も、技術もすべて自己責任、このような厳しい、しかし当然の視点から再度登山のすべてををチェックしてみよう。初心忘るべからず。

そして登山が終了した時、ひと言「よかつたなあ、楽しかったなあ」と。

**登山・アウトドアのプロジェクト  
OUTING PRODUCTS**

**エルク**

〒400-0047  
山梨県甲府市徳行4-13-9  
TEL: 055-222-1991  
e-mail: elk@elkinc.co.jp  
<http://www.elkinc.co.jp>  
☆ホームページもご覧ください!!!

# 61人が参加し熱戦展開 県体育祭り クライミング



150度の傾斜で行なわれた予選



決勝ルートを力登する内藤聰選手

9月20日、小瀬クライミング場で、第62回山梨県体育祭り山岳競技クライミング大会を開催した。今年は計61人の参加者を迎えた。オーブン参加としてエントリーした県外選手も15人を数える過去最大規模の大会となつた。

ビギナークラスは、ほとんどの選手が10代というフレッシュな顔ぶれ。決勝では川口凌汰（一宮中）が三沢佑介（山梨高）をタツチの差でかわし優勝。

オープンクラスは、選手皆が驚く150度の傾斜で予選が行なわれ、ここを難なく登った安田あたり（芦川中）と、若尾龍隆（山梨市）の2人がそのまま決勝ルート（5・12b・c）も完登。スーパーファイナル

でも快登をみせた安田が、若尾を振りきつて2年ぶりの優勝を決めた。体育祭りは男女混合という競技方式をとっているが、安田のような全日本レベルの女子選手に挑戦できるという意味ではよい機会といえる。

今回、準備にあたつては競技委員会内で体育祭り実行委員会を組織して臨んだ。準備段階から役割分担を明確にすることで、スタッフにも良い緊張感が生まれたのではないか。規模、質ともにさらに拡大するであろう今後のクライミング競技会に対する取り組みを布石にしたい。

△成績 ▽オープンクラス ①川口凌汰（一宮中）  
②三沢佑介（山梨高）③河西凜（大國小）  
④内藤聰（笛吹市）⑤安田あたり（芦川中）  
⑥若尾龍隆（山梨市）⑦畠野克実（笛吹市）  
⑧川口凌汰（一宮中）⑨花田貴大（須玉中）  
⑩田中慎一（韮崎工高）⑪畠野克実（笛吹市）  
⑫川口凌汰（一宮中）⑬志村悟（都留市）  
⑭花田貴大（須玉中）⑮田中慎一（韮崎工高）⑯畠野克実（笛吹市）  
⑰内藤聰（笛吹市）⑱志村悟（都留市）⑲花田貴大（須玉中）⑳田中慎一（韮崎工高）㉑畠野克実（笛吹市）  
㉒河野明理（山梨高）

でも快登をみせた安田が、若尾を振りきつて2年ぶりの優勝を決めた。体育祭りは男女混合という競技方式をとっているが、安田のような全日本レベルの女子選手に挑戦できるという意味ではよい機会といえる。

今回、準備にあたつては競技委員会内で体育祭り実行委員会を組織して臨んだ。準備段階から役割分担を明確にすることで、スタッフにも良い緊張感が生まれたのではないか。規模、質ともにさらに拡大するであろう今後のクライミング競技会に対する取り組みを布石にしたい。

関東大会は国体選手、特に若年者の競技力向上を目指して始まつたことから、例年少年選手の多い大会だが、今年はその傾向がことさら強かつた。選手の平均年齢はなんと16・7歳（ちなみに、山梨選手の平均年齢は22歳）。山梨の競技会ではトッププロでトライするような、10歳前後の「見た目ちびっ子」クライマーも、当然のように

△男子 ①島谷尚季（千葉）②島谷渉亮（千葉）③内藤聰（山梨市）④志村悟（都留市）⑤花田貴大（須玉中）⑥田中慎一（韮崎工高）⑦畠野克実（笛吹市）  
⑧内藤聰（笛吹市）⑨志村悟（都留市）⑩花田貴大（須玉中）⑪田中慎一（韮崎工高）⑫畠野克実（笛吹市）  
⑬内藤聰（笛吹市）⑭志村悟（都留市）⑮花田貴大（須玉中）⑯田中慎一（韮崎工高）⑰畠野克実（笛吹市）  
⑱内藤聰（笛吹市）⑲志村悟（都留市）⑳花田貴大（須玉中）㉑田中慎一（韮崎工高）㉒河野明理（山梨高）

△ビギナークラス ①川口凌汰（一宮中）  
②三沢佑介（山梨高）③河西凜（大國小）  
④内藤聰（笛吹市）⑤安田あたり（芦川中）  
⑥若尾龍隆（山梨市）⑦畠野克実（笛吹市）  
⑧川口凌汰（一宮中）⑨花田貴大（須玉中）  
⑩田中慎一（韮崎工高）⑪畠野克実（笛吹市）  
⑫川口凌汰（一宮中）⑬志村悟（都留市）  
⑭花田貴大（須玉中）⑮田中慎一（韮崎工高）㉑畠野克実（笛吹市）  
㉒河野明理（山梨高）

リードで、しかも競技者として登つていて。これが今の世間のレベル、常識なのである。競技は平均年齢とは比例することなく大変厳しいもので、山梨選手は予選ルートから下部で力つきしていく。結局、男女あわせて予選を突破できたのは、終了点付近まで迫つた内藤聰ただひとりであつた。

そして男子決勝。内藤は下部からベテランらしい足技で安定した動きを見せるも、あと5手を残してフォール。しかし、最長の意地は見せて会場を沸かせてくれた。その先まで到達した選手は、チームちばじゅニア所属の島谷尚季（12）と渕亮の兄弟（14）。優勝した尚季選手はクライミング歴わずか2年で、すでに5・13aをオンサイドする能力を身につけていたと聞いて驚かずにはいられなかつた。成績は次の通り。

**医療法人立史会**  
理事長 今井立史(スポーツドクター)

## 今井整形外科医院

TEL 055-232-7411

お年寄りのリハビリと介護  
介護老人保健施設 ノイエス

TEL 055-275-1165

## 山行記録

# 身延町境を完全踏破

甲府昭和  
磯野さん

つた。

き、その踏み跡を地図に赤線で埋めていくこととした。

最初は一人で、途中から甲府昭和の支援を受け、日本山岳会、山梨岳連の山仲間と

時、山登りはより高さを求める次第に工ス力レートし、仕事と山の両立がいつしか逆転した。山はやめ仕事のみに専念するつもりが、

山梨には姉妹山岳会の甲府昭和山岳会があり、かいじ国体の機運とともにまたズルズルとはまつていった。

視点を身近に置くとあらためて下部の藪山の四季折々の自然に魅力を感じ、生涯の目標として町内の山を歩き地域研究することにした。道があつてもなくとも地図と磁石で町境を踏破し、そして尾根という尾根を、年齢とともに道という道をより多く歩

### 瑞牆・金峰・横尾の山行時には

〈コーヒー・季節料理・お食事・宿泊〉

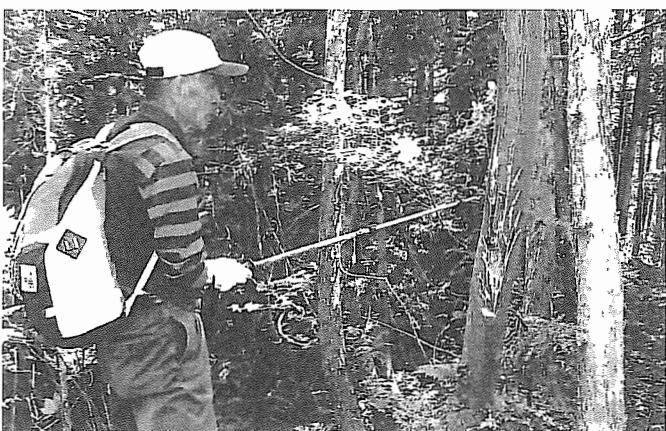
**みちがきの宿 五郎舎**

ごろうや  
でおくつろぎ下さい。



TEL(0551)45-0329

町境踏破に入山する磯野澄也さん(中央)



町境にはクマの爪跡なども

平成21年10月24日、身延町境踏破の最終章として甲府昭和、高体連、山猫の仲間6人とともに安倍峠から南部町境を地図と国道52号線に下り、身延町境を全踏破となつた。3週間前には単独でこの沢から富士川に出て、急流を4カ所渡渉し左岸へ縦横断した。中州に立ち私は何をやつているんだろうと、ふとおかしくなつた。下部温泉駅前の湯之奥金山博物館前で山仲間、恩師、友人、地元岩欠公民館、博物館員の祝福を受け、完登式をしていただき感無量だ

山の四季折々の自然に魅力を感じ、生涯の目標として町内の山を歩き地域研究することにした。道があつてもなくとも地図と磁石で町境を踏破し、そして尾根という尾根を、年齢とともに道という道をより多く歩

市町村合併問題が急速に高まる中、平成16年9月の下部、身延、中富3町合併直前の7月10日、猪の頭トンネルより湯之奥まで縦走し下部町境を全踏破した。3町合併で2・3倍に町は広がり、あらためて目標を新身延町境に定め再開した。面積304.83km<sup>2</sup>、山梨県の6・8%を占め、七面山の標高1989mから130mの富士川まで標高差1800mを持つ山々は大変急峻であり、崖地が多く、また里山ゆえに藪に悩ませられ、わずかな距離をブツシユ漕ぎや高巻きなど、ルートによつては困難を極めた。

新身延町の町境は、峠南橋～月見橋～富士川CC～林道富士見山線～山王～富士見山～笹走～博坪発電所～栗倉山～身延山～門野峠～七面山(飛地)～八紘嶺～安倍峠～御殿山～横根中～富士川縦横断～三石山～五宗山～猪の頭トンネル～毛無山～雨ヶ岳～端足峠～竜ヶ岳～本栖湖南岸～本栖湖北岸～パノラマ台～三方分山～秩迹ヶ岳～太平山～蛾ヶ岳～山家～熊沢～久那土～峠南衛生組合～富士川縦断～峠南橋となる。これらの町境にどれも思いがある。富士

川CCC尾根のクマによる樹木の生傷、山王の消滅集落、富士見山からの富士山や南アルプスの眺望、博坪発電所の排水管の太さ、門野周辺のヤマヒルの恐怖、雨の中を七面山から瘦せ尾根縦走、安倍峠からの富士遠望、三石山の祠、静寂にたたずむ五宗山、夕闇迫る雨の毛無山笹尾根藪コギの中ケモノの気配、雨ヶ岳の急登、竜ヶ岳からの根こそぎ富士山、樹海真っ青な本栖湖への急斜面の沢筋、三方分山からの遠望、折八の消滅・限界集落、子供とやつと下つた山への急傾斜の尾根、久那土駅上の猛烈なブツシユ漕ぎ、峠南衛生組合の沢出合で恩師と出会い「お前、何やつてるの?」

山行を通じて多くの支援仲間と楽しく快適に、あるいは大変厳しく緊張感が走り、歩き、それそれ思いがある。とにかくこの町は起伏が激しく大きな町だ。今後の目標はさらに赤く地図に印すことと南部町境にも挑んでみたい。



百蔵山頂の会員



最後の滝子山に立つ羽田政人会長

長 中安正議

(御坂山岳会創立60周年記念行事実行委員  
年発刊予定の60周年記念誌で報告する。)

# 山梨百名山に一斉登頂

## 御坂山岳会60周年行事

平成22年4月29日、御坂山岳会は創立60周年を迎える。

それを記念して、当会員総参加による「山梨百名山一斉登頂」を計画した。

当初は記念行事として海外遠征が候補に挙がった。しかし海外遠征では、参加できるのは会員のうち数名で、会全体としてはなかなか盛り上がらない。今回は全員が参加できるイベントが他にないか提案されたのが、会員総

検討した。そこで提案されたのが、会員総参加による山梨百名山同日登頂であった。

早速、同日登頂をシミュレートしてみた

実施期間は平成21年10月10日零時にスタートし、12日24時までの3日間(72時間)、登頂山岳は本人の希望に基づき実行委員会

が実行に移されることになった。

10月10日初日は雨にもかかわらず、富士山が割り振った。

3日目には20人の会員により25峰に登頂し、3日間で33人の会員により78峰に登頂することことができた。惜しくも百名山登頂はならなかつたが、会としては大いに盛り上がり会員の心はひとつになつた。この3日間で最も多く登つた会員の登頂数は8峰で、累積標高は1万5794mに達した。

その後、有志会員によって山梨百名山登頂は続けられ、10月25日の羽田政人会長の滝子山登頂により、山梨百名山の完全踏破は達成された。スタートから15日と12時間50分であつた。今後はもっと若手会員を誘い、いつかは山梨百名山同日登頂に挑戦したい。

ほとんどの会員は日帰りで登頂したが、テント泊まりの2泊3日の縦走に単独行で挑んだ会員が3人いた。また日本山岳耐久レース長谷川恒男カップ出場中に百名山に登頂した会員、一緒に登つた母親が百名山完登を果たした会員、勘違いしてフライングスタートしてしまつた会員など、それぞれにドラマがあつた。これらについては来年発刊予定の60周年記念誌で報告する。

ところ、精錐会員が1日に複数峰登る計画を立てたとしても、とても1日で百峰登頂することは不可能であることが判明した。そのうち実働部隊が何人いるか考えると、同日登頂の計画は無理があつた。

ここで廃案になりかけた百名山登頂だつたが、3日間ほどあれば山梨百名山が登れるのではないかという案が持ち上がり、再検討したところ、厳しいが無理ではないという結論に達した。また百名山登れなかつたとしても、幾つ登れるか挑戦するのも意義があるのではないかという意見もあつた。そのような中で、山梨百名山一斉登頂が実行に移されることになった。

実行に移されることになった。

3日目には20人の会員により25峰に登頂し、3日間で33人の会員により78峰に登頂することことができた。惜しくも百名山登頂はならなかつたが、会としては大いに盛り上がり会員の心はひとつになつた。この3日間で最も多く登つた会員の登頂数は8峰で、累積標高は1万5794mに達した。

その後、有志会員によって山梨百名山登頂は続けられ、10月25日の羽田政人会長の滝子山登頂により、山梨百名山の完全踏破は達成された。スタートから15日と12時間50分であつた。今後はもっと若手会員を誘い、いつかは山梨百名山同日登頂に挑戦したい。

北アルプスの立山にある御前沢で、日本最大級の氷の塊「氷体」が見つかつた。斜面を移動している可能性があり、確認されれば日本で初の氷河発見となる。国立カルデラ砂防博物館の調査で分かつたもので、氷体は長さ700~800m、最大幅200m、厚さ最大30m。理論上は重さで年に1m近く動く可能性があるといふ。

トイレは、景観を配慮してログハウス風の造り。汚水を微生物や力キ殻などを使つて処理し、洗浄水として再利用している。同駐車場には、これまで2基の仮設トイレがあつた。しかし登山者増もあつて改善を求める声が強かつた。

茅ヶ岳登山口に新トイレが設けた。

北岳 間ノ岳 仙丈ヶ岳 甲斐駒ヶ岳 凤凰山  
百名山の玄関口

南アルプス

**広河原山荘**

南アルプス市広河原 電話090・2677・0828

県山岳連盟と日本山岳会山梨支部、増富ラジウム峡観光協会は10月17、18の両日、金峰山麓の金山平で第50回木暮祭を開いた。“奥秩父の父”と呼ばれ、奥秩父の魅力を紹介した木暮理太郎翁を顕彰する木暮祭も今年で50年。木暮家の関係者、生地・群馬県太田市の強戸山岳会、首都圏や日本山岳会越後、静岡、東海支部の関係者ら約20人が参加し、木暮翁の業績をしのんだ。

35年10月に

木暮翁の顕彰は昭和25年に始まつた。翁が愛した金峰山が見える場所として金山平が選ばれ、七回忌に当たる同年、木暮翁ゆかりの石榴花山岳会や霧の旅会、日本山岳会、県岳連などが、現在の場所より上方の岩にレリーフを取り付け、命日の5月に碑前祭を開いてきた。しかし34年の台風で一帯が荒れたため現在地に再建。

35年10月に

木暮祭前夜祭の17日は、借り切つたみずがき山リーゼンヒュッテに約60人が集合。古屋支部長、太田市の深澤長平強戸山岳会前会長があいさつ。太田市の浅海崇夫さんが「理太郎の故郷は今（太田市から見える山々）」と題して誕生地から見た木暮翁を、八巻恭介木暮碑委員長が「木暮碑建設のこ

とを通じて木暮家の関係者にも依頼した。情報を探知した東京の市村孝史さんからは、野菊子さんから古い写真が寄せられた。また木暮碑委員会は記念の手ぬぐいと冊子、強戸山岳会も冊子を準備して配布した。DVDは前夜祭で上映。山梨日日新聞、山梨放送が「50年前の映像見つかる」と報道し、関心が高まつた。

木暮祭の顕彰は昭和25年に始まつた。翁が愛した金峰山が見える場所として金山平が選ばれ、七回忌に当たる同年、木暮翁ゆかりの石榴花山岳会や霧の旅会、日本山岳会、県岳連などが、現在の場所より上方の岩にレリーフを取り付け、命日の5月に碑前祭を開いてきた。しかし34年の台風で一帯が荒れたため現在地に再建。

木暮翁の顕彰は昭和25年に始まつた。翁が愛した金峰山が見える場所として金山平が選ばれ、七回忌に当たる同年、木暮翁ゆかりの石榴花山岳会や霧の旅会、日本山岳会、県岳連などが、現在の場所より上方の岩にレリーフを取り付け、命日の5月に碑前祭を開いてきた。しかし34年の台風で一帯が荒れたため現在地に再建。

秋山さんに体育功労賞

平成21年度県体育功労者に岳連副会長の秋山教之さん（高体連）が選ばれた。9月20日の県体育祭開会式で表彰された。

秋山副会長は、かいじ国体山岳競技で成年男子コーチとして優勝に貢献。また長年にわたり高校山岳部の指導者として、競技

# 木暮祭半世紀 盛大に

## 太田市、語り継ぐ会設立へ



木暮祭であいさつする秋山泉会長

第1回木暮祭を開催し、地元の木暮碑委員会（山梨県山岳連盟、日本山岳会、山梨支部、増富ラジウム峡観光協会で構成）の主催で継続し、現在に至つている。5月の碑前を加えると60回となる。

50回目の今年は、盛大にやろうと計画。太田市などにも参加を呼び掛けた。

太田市の関係者

木暮碑委員会の八巻委員長、県岳連の秋山泉会長、古屋支部長が主催者としてあいさつ。木暮翁の業績や木暮祭の50年を振り返り、今後も顕彰していくことを誓つた。生家を守る木暮英雄さんが親族を代表してお詞のあいさつの後、持参した供物を備えた。県岳連の献酒に続き、参加者120人がバラの花を1人ひとり献花した。さらに強戸山岳会の服部佳郎会長の音頭で献杯し、山梨支部の久保田明宗副支部長のあいさつで閉会した。

当日は秋晴れの青空に金峰山がくつきり、どつしりとした姿を見せ、金山平の紅葉とあいまつて絶好の日和となつた。50年前、草原の斜面にシラカバが点在し、金峰山が見渡せた顕彰碑は、成長したシラカバとカラマツの斜面に変わつて金峰山は望むことができず、時の流れを感じさせた。しかし西洋流の登山思想が全盛の時代に、古くから続く日本の登山を奥秩父で実践した木暮理太郎の業績は、現在につながつてゐる。若い女性の登山ブームの背景には、山に安らぎを求めた木暮翁や田部重治の登

18日は、瑞牆山の岩「カンマンボロ」までのハイキングに30人以上が参加。正午前から地元観光協会が甲州名物“ほうとう”をふるまつた。恒例のサービスでカボチャ、地元のキノコ入りに長い列ができる、大釜2つが完食となる人気だつた。

午後1時から碑前で木暮祭が始まつた。木暮碑委員会の八巻委員長、県岳連の秋山泉会長、古屋支部長が主催者としてあいさつ。木暮翁の業績や木暮祭の50年を振り返り、今後も顕彰していくことを誓つた。生家を守る木暮英雄さんが親族を代表してお詞のあいさつの後、持参した供物を備えた。県岳連の献酒に続き、参加者120人がバラの花を1人ひとり献花した。さらに強戸山岳会の服部佳郎会長の音頭で献杯し、山梨支部の久保田明宗副支部長のあいさつで閉会した。

当日は秋晴れの青空に金峰山がくつきり、どつしりとした姿を見せ、金山平の紅葉とあいまつて絶好の日和となつた。50年前、草原の斜面にシラカバが点在し、金峰山が見渡せた顕彰碑は、成長したシラカバとカラマツの斜面に変わつて金峰山は望むことができず、時の流れを感じさせた。しかし西洋流の登山思想が全盛の時代に、古くから続く日本の登山を奥秩父で実践した木暮理太郎の業績は、現在につながつてゐる。若い女性の登山ブームの背景には、山に安らぎを求めた木暮翁や田部重治の登

さらに木暮家の参加者を代表して、生家を守る木暮英雄さんがあいさつ。市村さんが映像の経過を解説し、上映した。また吉野さんの提供写真をパネルにして展示した。この後、夕食を摂りながら懇親会を開き、参加者が交流を深めた。

18日は、瑞牆山の岩「カンマンボロ」までのハイキングに30人以上が参加。正午前から地元観光協会が甲州名物“ほうとう”をふるまつた。恒例のサービスでカボチャ、地元のキノコ入りに長い列ができる、大釜2つが完食となる人気だつた。

午後1時から碑前で木暮祭が始まつた。木暮碑委員会の八巻委員長、県岳連の秋山泉会長、古屋支部長が主催者としてあいさつ。木暮翁の業績や木暮祭の50年を振り返り、今後も顕彰していくことを誓つた。生家を守る木暮英雄さんが親族を代表してお詞のあいさつの後、持参した供物を備えた。県岳連の献酒に続き、参加者120人がバラの花を1人ひとり献花した。さらに強戸山岳会の服部佳郎会長の音頭で献杯し、山梨支部の久保田明宗副支部長のあいさつで閉会した。

当日は秋晴れの青空に金峰山がくつきり、どつしりとした姿を見せ、金山平の紅葉とあいまつて絶好の日和となつた。50年前、草原の斜面にシラカバが点在し、金峰山が見渡せた顕彰碑は、成長したシラカバとカラマツの斜面に変わつて金峰山は望むことができず、時の流れを感じさせた。しかし西洋流の登山思想が全盛の時代に、古くから続く日本の登山を奥秩父で実践した木暮理太郎の業績は、現在につながつてゐる。若い女性の登山ブームの背景には、山に安らぎを求めた木暮翁や田部重治の登

**八ヶ岳\*手づくりアップルパイ**

有限会社 パンの家エム・ワン

〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸 5883

TEL.0551-38-4181  
FAX.0551-38-4409

URL <http://www.pai-m1.co.jp>  
E-mail [info@pai-m1.co.jp](mailto:info@pai-m1.co.jp)

(地方発送も承ります)

## 理事會報告

		■ 9月度理事会 9月2日(水)午後7時～甲府市総合市民会館	
○協議項目 1 岳連ホームページについて 使用できるよう早めに対応する		1 岳連カレンダーの配布について 配布枚数の決定	
2 山梨県体育祭り山岳競技の実施について 参加費 大人千円 小人7百円		3 その他 中高年安全登山指導者講習会(栃木) への視察者派遣決定 第50回木暮祭の内容について	
■ 10月度理事会 10月7日(水)午後7時～甲府市総合市民会館		10月7日(水)午後7時～甲府市総合市民会館	
○協議項目 1 岳連カレンダーの配布について 別紙のとおりとし、レインジャー費との相殺額決定		1 岳連カレンダーの配布について 岳連合同研修会の実施について	
2 國際登山委員会による講演会の開催について 岳連合同研修会の実施について		2 國際委員会による講演会「佐藤裕介君」の開催について 11月11日 開演午後7時30分～甲府市総合市民会館大會議室	
3 岳連合同研修会の実施について 研修会の予定(群馬県) 研修会への希望者がいるので競技委員会で取りまとめる		3 次回国体関東ブロック大会審判員の推薦について 2月初旬研修会、4～5月審判員研修会(甲府市)	
4 岳連報78号の制作について 旗の製作(寄付)について 大と小の2種類、寄付を受ける		4 岳連報78号の制作について 岳連報78号の制作について	
3 甲府市総合市民会館大會議室 関係機関へ後援依頼を行う 岳連合同研修会の実施について 要検討		11月11日(水)甲府市総合市民会館大會議室 11月7・8日 三ツ峠山荘泊 参加費	
4 その他 中高年安全登山指導者講習会への視察状況について(別紙)		11月4日(水)午後7時～山梨県男女善寺	

## 活動記録

10月1日	会報77号発行	11月1日	山岳レインジャー責任者会議(甲府市)	12月1日	県体育祭山岳競技(小瀬クライミング場)
12月1日	理事会(甲府市)	11月7日	第2回選手強化会議(小瀬)	12月2日	中高年安全登山指導者講習会(甲府市)
12月2日	県体育功労者・優秀選手表彰式	11月11日	国際委員会「佐藤裕介氏登山報告会(三ツ峠)	12月25日	自然保護委員会(甲府市)
1月16日	県体育祭ヒヤリング(小瀬)	11月28日	クライミング認定講習会(小瀬)	1月23日	岳連新年会(東京都)
1月23日	理事会・岳連新年会(大善寺)	12月28日	クライミング場(新潟)	2月10日	副理事長以上役員会(甲府市)
1月27日	会(栃木)	1月30日	自然保護委員会(甲府市)	2月27日	自然保護委員会(甲府市)
2月26日	クライミング認定講習会(小瀬)	2月26日	クライミング場(新潟)	3月3日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
3月30日	理事会・2010年カレンダー配布(甲府市)	3月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	3月10日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
3月31日	会報79号発行	3月31日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	3月27日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
4月10日	副理事長以上役員会(甲府市)	4月10日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	4月27日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
4月27日	国体審判員関東ブロック研修会(群馬)	4月27日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	5月10日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
5月20日	県体育祭山岳競技(小瀬クライミング場)	5月20日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	5月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
5月25日	自然保護委員会(甲府市)	5月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	5月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
6月25日	自然保護委員会(甲府市)	6月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	6月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
7月25日	自然保護委員会(甲府市)	7月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	7月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
8月25日	自然保護委員会(甲府市)	8月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	8月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
9月25日	自然保護委員会(甲府市)	9月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	9月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
10月25日	自然保護委員会(甲府市)	10月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	10月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
11月25日	自然保護委員会(甲府市)	11月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	11月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)
12月25日	自然保護委員会(甲府市)	12月25日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)	12月30日	岳連雪上氷瀑講習会(予定)

ISO 14001 認証取得  
ISO 9001 認証取得

真心と確かな技術



株式会社

早野組

代表取締役社長 早野潔

本社/〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10 ☎055-235-1111  
東京支店/〒193-0835 東京都八王子市千人町2-5-24 ☎0426-67-8800  
リニューアル室/☎055-232-0200

(1面から)て、到達できそうな高度あたりまでのオブザベーションを河野とともに入念に行う。安田は完登こそ逃したもの個人2位の高度。河野は下見したところまできつちり高度を稼いでからフォールして15位タイ。予選より2つ順位を上げてチーム3位なることができた。

そしてボルダリング決勝。全4課題、前半2課題の結果で後半に進めるチームは半分の4チーム。なんとしても後半戦に持ち込みたいところだが、予選6位通過が重い。大きな動きを要求される1課題目。完登は安田を含む3人。ダブルダイノ(飛びつき)の2課題目はやはり安田と1人のみ完登、河野は歯が立たない。結局完登者のいるチームが後半戦へ。我がチームは首の皮一枚つながり4位で通過。

後半1課題目は特にバランスを要する内容だったが安田は難なく1撃。河野も1トライでボーナスポイントを2つとる活躍をみせる。最終4課題目は最難のバランスとムーブ力を問われる課題。スタートにてこずつた安田も4トライ目で完登し全完登の個人2位、河野は3課題目のボーナスが効いて個人7位、チーム3位となり、競技同様に順位を上げて競技を終了した。この好成績は安田の確かな実力と、浅い競技歴をもろともせず真面目に練習を重ねて120%の力を本番で出してくれた河野の集中力の賜物。結果もさることながら、大きな感動を与えてくれたことに、監督として報われた思いである。

### 〈国体における今後の課題〉

山森 政之(主任強化コーチ)

今年の国体の成果は、安田ひとり選手の

活躍抜きには成し遂げられなかつた訳だが、昨年の大分国体でも好成績を残した繩重未来選手同様、10歳前後から専門指導を施すことが競技力向上においていかに重要なことを証明してみせた。

他方、成年種別の成績に目をやつてみると、男子は25位、女子は4年連続でプロック予選を通過できていない。世界ランカーの選手を擁する上位県との実力差を埋めることは一朝一夕にはいかないが、少年世代からの長期的な育成を通じて成年選手を強化するより手立はないだろう。

その意味では他のスポーツと同様に、小中高の一貫指導が理想的なのが、小中体連で競技クライミングができる現状、子供たちの練習の場はクライミングジムや有志グループに委ねられている。幸いにして、現在、県内のジムでは50人以上の小中学生がスポーツクライミングに取り組んでおり、この子供たちが高校生になった時、部

活動的には岳連や競技力向上対策本部を核として、少年クラブチームが発足したり、県内高校生の競技会などが開催されるようになれば、振興と強化は加速度を増して進むと思う。

他にも指導者の不足という難題もあるが、安田賢監督をみれば少年選手とともに指導者としてあらゆる経験を積もうという姿勢が何より大切だ、ということは良く分かる。指導者と選手の育成は一体である。

国体で勝利する意義は、県の代表たる数人のコンペティターを育成することとは違う。国体が世界標準の国際ルールとなつた今、このスポーツに真剣に打ち込むとする若者の可能性を遮らないための変革と啓発の先に、眞の意義があるのだと思う。

### 富士登山者、29万人

#### 環境省がまとめた平成21年夏(7・8月)

の富士登山者(8合目以上)は、山梨、静岡合わせて29万2058人だつた。過去最多だった昨年より約1万3000人減つたが、相変わらずの人気だつた。

吉田口6合目通過は24万人

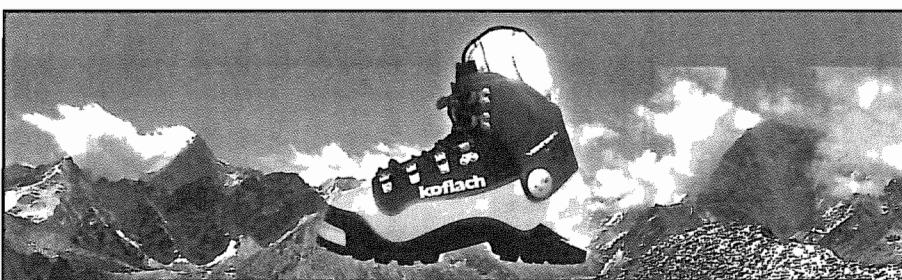
富士吉田市がまとめた今年夏(7・8月)

の登山者(6合目安全指導センター前の通過者)は24万1436人で、2年連続24万人を突破した。

登山者数は、同センター前の通過者をカウントしていく、前年に比べると2・2%、

5630人減少した。1日当たりの登山者が最多だったのは8月8日で、1万187人だつた。若い女性の富士登山ブームに合った。吉田口は3152人、須走口が8462人、御殿場口は5234人減少した。

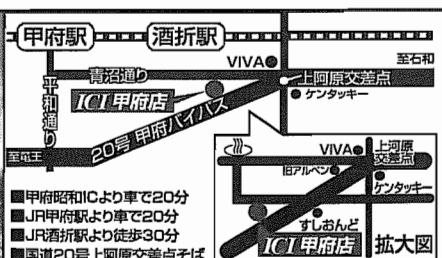
同省が2005年から調査。各登山口の8合目に赤外線カウンターを設置して調べ



#### お知らせ

冬季用登山靴として長年に渡って販売して参りました「コフラック社・プラスティック製登山靴」は、全製品の製造が終了しました。多くの登山愛好家の皆様に御要頼頂きましたことを御礼申し上げます。尚、プラスティック製登山靴はその製品特性上、経年劣化による破壊が多数確認されております。一般的に寿命の目安は5年程度ですが、特に購入後10年以上経過している場合は、ご自身の安全を確保するためにも、使用の中止をお願いします。

登山用品全般(冬山・沢登り・クライミング・山スキー・テレマークスキー)・高所作業用品・スキー用品取扱い



**ICI 石井スポーツ甲府店**  
〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町481-1  
**TEL. 055-221-0141**  
<http://WWW.ici-sports.com>